

# 和木町 洪水ハザードマップ

この洪水ハザードマップは、水防法第14条に基づき、想定最大規模の中小河川浸水想定区域と避難所等を掲載したものです。

すぐに避難できるように、大切に保管してください。

## 情報収集ツール

### 防災行政無線テレホンサービス

防災行政無線の放送内容を電話で確認できます。確認できるのは直前の情報となります。

☎0120-52-2136

### コスモキャスト(スマホアプリ)

防災行政無線の放送内容が文字や音声で確認できます。通常放送は文字で、Jアラートは音声で配信されます。

iPhone    android

### 防災メール

気象情報や防災情報をメールでお送りします。登録は、QRコードを読み取り、空メールを送信してください。

(空メール) bousai.waki-town@raiden.ktaiwork.jp

### インターネットによる情報収集先

- ▶和木町役場 <https://www.town.waki.lg.jp/>
- ▶山口県土木防災情報システム <http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/>
- 現在の気象情報、雨量、河川水位、潮位、土砂災害等が分かります。
- ▶山口県防災情報メール    山口県土木防災情報システム(上記)から登録できます。

## 緊急連絡先・お問い合わせ



### 災害用伝言ダイヤル

被災地の方の安否等情報を電話で登録・確認できます。

**1717** 伝える場合 1 録音の案内が流れます  
**0827-** 聞く場合 2 被災した家の電話番号  
 再生の案内が流れます

インターネット上で、安否等の情報をテキストで登録・確認できる伝言板です。  
 利用者登録 <https://www.web171.jp/>へアクセス

### 緊急連絡先

名称	電話番号
和木町役場(災害対策本部)	0827-52-2135
警察署	110
消防署	119
中国電力岩国営業所(停電時)	0120-610-763

お問い合わせ 和木町役場(企画総務課) TEL:0827-52-2135

## 弥栄ダム放流警報時の放送内容と警報について

警報所からの警報は音声放送とサイレンまたは類似音でお知らせします。

### 放送内容

- 放流開始時**  
(放流警報音声メッセージ 1)※1  
※1 放流開始時の警報は弥栄ダムから瀬田情報所まで放送  
こちらは国土交通省弥栄ダム管理所です。大雨により、ダムに流れ込む水の量が増加しています。このため、弥栄ダムからまもなく放流を開始します。川の水位が上昇し、流れが速くなり危険です。川の中やそばにいる人は、危険ですので直ちに川岸から離れて安全な場所へ避難して下さい。
- 急激な水位上昇時**  
(放流警報音声メッセージ 2)  
こちらは国土交通省弥栄ダム管理所です。まもなくダムからの放流により、川の水位が上昇し流れが速くなり危険です。川の中やそばにいる人は、危険ですので直ちに川岸から離れて安全な場所へ避難して下さい。
- 増水調整時**  
(放流警報音声メッセージ 3)  
こちらは国土交通省弥栄ダム管理所です。ダムに流れ込む水を貯めて、川の増水を緩和していますが、大雨により川の水位が上昇しています。直ちに川から離れ、川やダムの情報市町村の避難情報などに注意して下さい。
- 異常洪水時 防災操作開始時**  
(放流警報音声メッセージ 4)  
こちらは国土交通省弥栄ダム管理所です。現在ダムに流れ込む水の量が非常に増加しているため、ダム湖に貯められなくなる事が予想されます。このため、1時間後には流れ込んでくる水を通過させる操作を開始します。これにより、川の水位が急激に上昇しますので、厳重な警戒をお願いします。直ちに川から離れ、川やダムの情報市町村の避難情報などに注意して下さい。

### 警報(サイレンまたは類似音)

#### サイレン及び疑似音の鳴り方

また、警報のタイミングは、水かさが増えたと予測される放流を行う場合の約30分前に警報を行います。  
 ※警報車による巡視も行いますが、警報を聞いたときは直ちに川岸から離れて安全な場所へ避難してください。

参考資料: [http://www.cgr.mlit.go.jp/yasaka/info/ijf/pdf/ijf-1\\_20161108.pdf](http://www.cgr.mlit.go.jp/yasaka/info/ijf/pdf/ijf-1_20161108.pdf)

## 避難の心得

### 普段からの心構え

もしもの時に備えて、普段から心構えをしておきましょう。情報は、自ら積極的に取りに行くようにしておきましょう。

#### 避難場所、経路の確認

- 災害毎に、どこへ避難するか、どこを通るか事前に確認しておきましょう。
- 荷物は掛けるだけの量にしましょう。
- 時間が無い時は、荷物を置いてすぐ避難しましょう。

#### 持出品の確認

- 避難時の持出品を、事前に確認しておきましょう。
- 荷物は掛けるだけの量にしましょう。
- インターネットで防災情報を確認してみましょう。

#### 避難の呼びかけに注意

- 普段からテレビやラジオなどの情報や、役場や消防などの呼びかけに注意しておきましょう。
- インターネットで防災情報を確認してみましょう。

### 災害から避難する時には

避難をする際にも危険がたくさんあります。何よりもまずは人命が大事です。危険と感じたら、自ら進んで事前避難しましょう。

#### 自分から早めに避難する

- 風雨が強くなる前に避難しましょう。
- 避難の呼びかけにはすぐに応じましょう。
- 暗くなると危険です。夜になる前に避難しましょう。

#### 避難の服装

- 避難時は運動靴が最適です。長靴は水が入ると抜けなくなります。
- 歩ける深さは大人でも膝下までが目安です。
- 大人は子どもから手を離さないでください。

#### 足元に注意!

- 浸水すると道路と水路の区別がなくなります。
- 棒など長いもので深い場所がないか確認しながら歩きましょう。

### 車は使わない!

- 災害時に自動車では避難しないでください。

### 隣近所に知らせる

- 避難する時には、近隣へ声を掛けおきましょう。
- 出来れば一緒に事前避難をしましょう。

### 逃げ遅れたら無理はしない

- 避難する時間が無かったら、無理に避難せず、自宅のできるだけ高い場所や、近くの安全な建物へ避難しましょう。

## 大雨時のとるべき行動

### 気象情報

気象庁では令和8年5月下旬から新たな防災気象情報の運用を開始します。河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮に関する情報等は、これまで警戒レベルと対応が複雑でわかりにくくなっていましたが、今回の改善により、避難情報の5段階の警戒レベルに対応し、避難の判断をしやすくなります。例えば、これまでの大雨警報は、「レベル3大雨警報」という名称に変更になり、レベルの数字と一緒に情報が伝えられます。レベル4やレベル3の情報が発表された場合には、キキクルや河川の水位情報等の情報を確認して早めの避難を心がけてください。

### 警戒レベルについて

警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	(警戒レベルごとに)住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	氾濫特別警報	大雨特別警報	土砂災害特別警報	高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
<警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難!>					
警戒レベル4相当	氾濫危険警報	大雨危険警報	土砂災害危険警報	高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	氾濫警報	大雨警報	土砂災害警報	高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	氾濫注意報	大雨注意報	土砂災害注意報	高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル1	早期注意報				災害への心構えを高める

### 適切な避難行動

避難行動には、避難所などへ避難する「立ち退き避難(水平避難)」と、自宅など建物内の安全な場所から退避する「屋内安全確保(垂直避難)」があります。

#### 自宅の外へ避難(立ち退き避難)

避難所などへ避難(水平避難)

#### 自宅に待機(屋内安全確保)

高所へ避難(垂直避難)

- 浸水が始まる前に避難を! 浸水が始まると、水深が浅くても流れの速さによっては足をすくわれます。また、側溝やマンホール、水路などが確認できず転落するおそれがあります。
- 避難判断は自分で! 気象情報や避難情報などの防災情報をもとに、自主的避難を心がけましょう。
- 移動手段は徒歩で! 車は故障・渋滞に巻き込まれるおそれがあります。

## 風水害のリスクを知る

### 過去の浸水被害

**岩国和木豪雨災害**  
和木町では平成26年8月に大きな豪雨災害が発生しました。この豪雨災害では、町内で数十カ所の土砂崩れが発生したほか、土砂崩れによる河川閉塞によって瀬田地区で数多くの住家が水没被害に見舞われました。(全壊4棟、一部損壊1棟、床上浸水45棟、床下浸水16棟等)

### 大雨がもたらす現象

#### 積乱雲の発達

「大気の状態が不安定」な時(上空に冷たい空気、地上に温かい空気の層がある時)に発生します。

#### 台風の接近

台風は巨大な空気の渦巻きになっており、反時計回りに強い風が吹き込んでいます。そのため、進行方向に向かって右の半円では、台風自身の風と台風を移動させる周りの風が同じ方向に吹くため風が強くなります。

#### 前線の停滞

日本付近では6月頃に梅雨前線、9月頃に秋雨前線が停滞します。

#### 積乱雲が近づくサイン

- 真っ黒い雲が近づいてくる
- 雷の音が聞こえてくる
- まもなく、激しい雨と雷がやってきます。河川や低い場所からすぐに離れましょう。

### 大雨によって発生する災害

#### 水害

- 内水氾濫: 下水道・支川等の雨水排水能力を上回り、浸水がある。
- 外水氾濫: 河川の水位が上昇し、堤防を乗り越えたり、浸水する。また、側溝やマンホール、水路などが確認できず転落するおそれがあります。

#### 土砂災害

- 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ): 雨などの影響によって、土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちる現象です。
- 土石流: 土壌や深床を構成する土砂石塊の一部が雨などによって水と一緒にとなり、一気に下流へ押し流される現象です。
- 地すべり: 斜面の土壌が地下水などの影響により、すべり面に沿ってゆっくりと斜面下方へ移動する現象です。

## 災害に備える

### 台風や大雨に備える

台風や大雨は、ある程度事前に備えができる災害です。台風などの接近前から出来る準備はしっかり整え、危険から身を守りましょう。

- 窓**
  - 窓枠がたがった場合は、雨戸にがたつきはないか。
- 屋根**
  - アンテナは不安定ではないか。
  - トタンはめくれているか。
  - 瓦のひび・割れはがれはないか。
- 雨どい**
  - 雨どいに落ち葉などは詰まっていないか。
  - 排水溝にゴミや土砂は詰まっていないか。
- ベランダ**
  - 植木鉢や物干しざおなど、落下や飛散の危険のあるものはないか。
- 排水溝**
  - 排水溝にゴミや土砂は詰まっていないか。
- 外壁**
  - 壁に亀裂はないか。
- その他**
  - ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定しているか。
  - ブロック塀はくずれそうにないか。
  - プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定しているか。
  - 庭木には添え木をしているか。

### いざという時に家庭でできる浸水への対策方法を知っておきましょう

#### ごみ袋による簡易水う

ごみ袋を二重にし半程度水を入れて、ダンボール箱に入れ連結します。

#### ポリタンクとレジャーシート

ポリタンクに水を入れて、レジャーシートで巻き込み連結します。

#### プリンターとレジャーシート

土を入れたプリンターを、レジャーシートで巻き込み使用します。

### 非常持出品、非常備蓄品

#### 非常持出品

災害時に避難する際に用意するもの、普段から災害時に備え、非常持出品を検討し下の表に書き込んでおきましょう。

食料関係	緊急・安全関係	貴重品	その他
<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> 下着・上着
<input type="checkbox"/> ミネラルウォーター	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ・電池	<input type="checkbox"/> マイナンバーカード	<input type="checkbox"/> 毛布・雨ガッパ
<input type="checkbox"/> 紙巾・割りばし	<input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> 運転免許証	<input type="checkbox"/> タオル・ハンカチ
<input type="checkbox"/> ラップ・ビニール袋	<input type="checkbox"/> くすり・お薬手帳	<input type="checkbox"/> 家・車のカギ	<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

#### 非常備蓄品

いざという時を想像し、何が必要か考えてみましょう。

水害時には、浸水被害などによってライフラインが使えなくなったり、垂直避難をした場合、長時間屋内から出られないことなどが想定されます。いざという時に備えて、災害が発生後、数日間は自活できるよう、水・食料、その他生活用品などの備蓄を行いましょう。

### 自主防災活動

災害はいつ発生するかわかりません。災害に備えるためには地域での助け合い「互助」を強化する必要があります。「自分たちのまちは自分たちで守る」という理念のもと、防災訓練など、地域の防災活動に積極的に取り組みましょう。

#### ペット同行避難

災害時には、和木町が開設した避難所ではペットを連れて避難することが可能です。飼い主とペットが同時に避難することを「ペット同行避難」といいます。同行避難する場合にはペットの管理は飼い主の義務となります。そのため、ペットには飼い主を明示する鑑札や名札を装着するとともに、ペットフードやトイレシート、ケージなどを用意して避難してください。また、同行避難とは、「一緒に避難すること」であり「避難所の同じスペースで生活する」ということではありません。そのため、ペットは避難所の屋内外のスペースで飼育することとなります。トラブルが生じた場合は、飼い主が責任をもって対処しましょう。